

I. 建学の精神・大学の基本理念、使命、目的、  
大学の個性・特色等

# I. 建学の精神・大学の基本理念、使命、目的、大学の個性・特色等

## 1. 「建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色等」の意義

### 建学の精神

世界音楽並ニ音楽ニ関連セル諸般ノ芸術ハ之ノ学校ニヨッテ統一サレ  
新音楽新歌劇ノ発生地タランコトヲ祈願スルモノナリ

#### ■建学の精神・大学の基本理念

創立者永井幸次は、音楽教育振興のためには、音楽の専門教育を目的とする音楽学校の設立が急務であるとの信念から、在阪の音楽家、教員の協力を得て、大正4(1915)年10月、大阪市南区塩町に大阪音楽大学の前身となる「大阪音楽学校」を創設した。大阪音楽学校の開学直前の朝日新聞には、「東京では専ら独逸音楽のみが行はれて露西亜、伊太利、仏蘭西等の好い音楽が閉却に附される傾向があるからこれ等を我が國に輸入して何處の國と云はずに自由に音楽を發達させ行く行くは日本音楽をも一まとめにして一大音楽堂を建て、……」(大正4(1915)年10月9日大阪朝日新聞)と記され、創立者の音楽教育に向けた高い理想と決意を伝えている。

大正13(1924)年大阪市東区味原町に新校舍建設にあたって、その「定礎文」として、永井幸次は「之ノ学校ガ大大阪否ナ関西音楽ノ中心トナルベキ發達ヲ遂ゲ終ニ世界音楽並ニ音楽ニ関連セル諸般ノ芸術ハ之ノ学校ニヨッテ統一サレ新音楽新歌劇ノ発生地タランコトヲ祈願スルモノナリ」という言葉を残した。この後半にあたる「世界音楽並ニ音楽ニ関連セル諸般ノ芸術ハ之ノ学校ニヨッテ統一サレ新音楽新歌劇ノ発生地タランコトヲ祈願スルモノナリ」を大阪音楽大学の建学の精神としている。

これは、創立者永井幸次の遠大な理想と信念を伝えるものであり、卒業生や教職員の中に受け継がれ、また、後の理事長や学長の入学式などの式典挨拶にもたびたび引用され、本学の歩むべき指標として醸成されてきた。創立90周年にあたる平成17(2005)年5月の教授会において、併設する短期大学の教授会と共に、改めてこれを「建学の精神」とすることを再確認・合意形成した。

#### ■使命・目的

創立者永井幸次は「音楽人は教養を与えられねばならない。教養の深い人の音楽は高雅である。」という言葉を残している。音楽教育の目的が、音楽専門の教育にとどまらず、人間教育をも行うべきであることを示唆するものである。建学の精神を踏まえつつ、本学の目的および使命を学則第1条に次のように定めている。

#### 大阪音楽大学学則

##### (目的および使命)

第1条 本学は音楽芸術に関する知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的・道徳的および応用能力を展開させ、良識ある音楽家を育成することを目的並びに使命とする。

## ■大学の個性・特色等

本学は、関西唯一の音楽単科大学である。実技科目の授業においては、個人レッスン、つまり一對一の教授法が採られている。このことにより、学生一人一人に応じたきめ細やかな教授を行い、音楽の基礎の確立や、学生個人の充実も図ることを目指している。さらに、音楽の知識や演奏技術を高めるために、国内外で活躍している著名な音楽家や研究者を招聘して、特別講座や公開レッスン等を開催する機会を多く設けている。弦楽器を中心とした「サントリーコレクション」をはじめ、多くの楽器を所蔵し、地元関西の洋楽史や伝統音楽の資料を持つ「音楽博物館」は、音楽のさまざまな興味に応える施設であり、一般にも公開している。また、また、専属の管弦楽団と合唱団を設けた「オペラハウス」を所有し、質の高いオペラ公演活動を中心に建学の精神に謳うように「音楽の発生地」として社会に向け音楽文化の発展に貢献するため、さまざまな活動を発信している。これらの活動は、勉学中の学生にとって将来の目標の一つとして捉えられ、教育的な効果をもたらしている。